

人工島税金投入の
借金の実態

人工島建設による(県)市(の)起債(借金)状況

今年度の借金は3年後から20年かけて返済!

県は人工島事業費の

「ほとんどを起債で…」

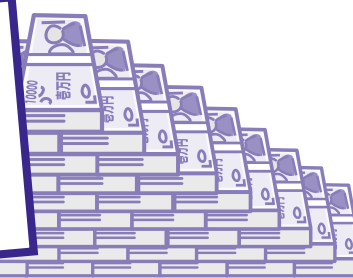
市は「九割を起債」。子や孫の代まで、まだまだ続く借金返済。

	人工島埋立の負担額	(借金)起債額	償還年数	(借金)起債残高	平成22年度借金返済(元利均等償還)
県	154億円	148億円	20年 据置3年	118億 9,137万円	9億 1,421万円
市	28億円	21億円	20年 据置3年	15億 6,429万円	1億 3,139万円

※鹿児島県分は、資料を明らかにしないので、鹿児島市の起債をもとに試算。 ※関連する「沖防波堤」負担金は別途の借金返済となります。
※元利均等償還では、事業が続く限り「雪だるま式」に借金返済額は増加していきます。

県と市の人工島建設の借金返済

毎年10億
4,560万円
(平成22年度返済額)



このお金があれば、こんなことが実現できます

●認可保育所
(定員60人と仮定、用地費を除く)



約1億3千万円
8箇所
建設できます。

●特別養護老人ホーム
(ユニット型定員50人と仮定、用地費を除く)



約6億7千万円
毎年1館
建設できます。

●普通教室へのクーラー設置



1教室
約230万円
28校
完備されます。

生活相談も
ご利用下さい

毎週月曜日午後1時より
於市役所日本共産党控室(別館3階)



平山たかし市議



山下ひとみ市議



大園たつや市議

日本共産党 2011年3月号 NO.119
鹿児島市議団ニュース

発行/日本共産党鹿児島市議団
鹿児島市山下町11-1
TEL: 216-1440 FAX: 225-5607
E-mail: kyousan@kagoshimashigikai.com

人工島建設の新たな問題点も鮮明に

① くるくる変わる県の「土地活用案」は、立案もメド立たず。地震・津波・台風の時は人工島は避難場所になりません。

② 「今年の早い段階で二期工事の埋め立ては完了するはず。」
「埋め立て完了をなぜ引き延ばすのか。」
「土砂投入制限の意図は。」

③ いよいよ問われる「未申請42³ヘクタール部分の断念」と「支払済の漁業保障」問題への対応

詳細は、市議団ニュース次号でお伝えします。

計画段階から、「ムダな将来展望ない人工島」の実態を調査・徹底追求。人工島問題はいよいよ新たな展開を迎えてきています。

日本共産党市議団は、これからもがんばります。



▲3月16日現在の人工島の埋め立て未完了部分